

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024 年 3 月 14 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部 国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	2 年生
帰国年月日	2024 年 2 月 16 日
明治大学卒業予定年月	2026 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	マレーシア
留学先大学	マラヤ大学 (日本語名) Universiti Malaya(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	マレー語/ 英語
留学期間	2023 年 10 月～2024 年 2 月
留学先大学で在籍した学年	2 年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 10 月初旬～ 2 月初旬 2 学期: 2 月下旬～ 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	1962 年
創立年	約 35,000 人

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (リンギット)	日本円	備考
授業料	0	0 円	
宿舍費	約 8283RM	約 256,800 円	家賃 1040RM(1 ヶ月)、光熱費約 90RM(1 ヶ月)、Wi-Fi35RM(1 ヶ月)、敷金礼金 2200RM(退去後に次の入居者が決まり次第全額返金されます)
食費		約 100,000 円	自炊、外食込み
図書費	0	0 円	
学用品費	60RM	約 2000 円	提出物のコピー代や課外活動参加費など(教科書購入はありませんでした)
携帯・インターネット費	約 150RM	約 4650 円	
現地交通費	約 2,500RM	約 77,500 円	通学はバス利用(1 回約 30 円) 遊びに行くときに Grab というタクシーアプリを利用していたためそれを含まず (<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		0 円	
保険費		円	形態：明治大学、マラヤ大学の両方で必須
渡航旅費		約 90,000 円	
ビザ申請費	376RM	約 11,656 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計		542,606 円	国外旅行費は含めてません！ 日本のクレジットで引き落とししている部分 が大きいため現地通貨での合計は曖昧 です。

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 羽田空港 目的地: クアラルンプール国際空港 経由地:
復路 出発地: クアラルンプール国際空港 目的地: 羽田空港 経由地:
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: エアアジア 料金: 53,596 円 復路 航空会社: エアアジア 料金: 46,929 円 ∴合計: 100,525 円
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: スカイスキャナーで金額を比較し、Trip.com や AirAsia から購入)
<input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)
<input type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:) <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 3人(1人ずつの個室あり))
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
私の前学期に留学していた先輩からの紹介
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
マラヤ大学の寮は全て相部屋で、1人の空間を持つことが難しいです。1人の時間を確保したい人は近隣のアパートを借りることを強くおすすめします。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

特に問題ありませんでした。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

基本的にクレジットカードで買い物していました。現金が必要なときは、日本円から両替するか、日本のデビットカードを使用して現金をおろしていました。ショッピングモールなどにも両替所があります。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

マレーシアは、日本の食材がかなり売られているので、食生活は特に問題ありませんでした。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
14 単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった: 18 単位まで		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Elementary Malay		
科目設置学部・研究科	FORMTEXT Languages and Linguistics	
履修期間	1 学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	オンライン、講義形式 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回	
担当教授		
授業内容	現地語であるマレー語の授業、主に留学生が履修していた	
試験・課題等	中間テスト、最終課題、最終スピーチがオンラインで行われた	
感想を自由記入	全く知らない言語だったが、基礎的な部分から学ぶことができるため、特に問題なかった。完璧に習得することはできなかったが、ローカルな屋台などで単語で会話できるようになった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Foreign Policy Analysis		
科目設置学部・研究科	Arts and Social Sciences	
履修期間	1 学期間	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式、授業とは別にチュートリアルあり (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Dr. Roy Anthony Rogers	
授業内容	世界全体の外交政策がどのように行われているのか、を分析する授業。	
試験・課題等	中間テスト、期末テスト、グループプレゼン、レポートあり	
感想を自由記入	特に東アジアが例に出されることも多く、おもしろかった。チュートリアルでは各グループ 1 回ずつ 40 分程度のプレゼンを行ったので、より知識が深まったと思う。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Community Development	
科目設置学部・研究科	FORMTEXT Arts and Social Sciences
履修期間	1 学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式、授業とは別にチュートリアルあり (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	
授業内容	コミュニティ活動における問題点や理想のモデル、評価の種類などについての授業。実際に地元のコミュニティ(今学期の場合は高齢者コミュニティ)を訪れ、グループごとにアクティビティを行なう。
試験・課題等	週に 1 回 300 語程度の essay、中間、期末テスト、グループごとの中間課題、最終課題、授業外活動あり
感想を自由記入	振り返ってみると、比較的負担の大きい授業だった。基本的には授業もチュートリアルも講義形式だったが、授業外でグループ課題や課外活動があったため、学生同士の交流も多い授業だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Communication Management	
科目設置学部・研究科	FORMTEXT FORMTEXT Arts and Social Sciences
履修期間	1 学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	
授業内容	コミュニケーションの概要や定義、戦略についての授業。組織内外におけるコミュニケーションとして、どのような形が理想的なのかなどについて話すことが多かった。
試験・課題等	2 週間に 1 回プレゼン、最終課題あり
感想を自由記入	2 週間に 1 回程度のペースでグループでプレゼンを行ったが、前回の授業と同じ内容を要約するだけだったので、あまり負担は大きくなかった。珍しく、チュートリアルも試験もなかったが、その分プレゼンや最終課題の比率は高くなっていた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Effective Oral Communication	
科目設置学部・研究科	Languages and Linguistics
履修期間	1 学期間
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(オンライン) (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Ms.Nor Syakirin Mohamed Nasrudin
授業内容	英語のコミュニケーションの授業。特に英語でスピーチを行うことに特化していた。
試験・課題等	スピーチ課題 2 つ(対面で実施)
感想を自由記入	基本的にオンラインで授業が行われ、コミュニケーションを取ることはあまりなかった。講義形式の授業で、英語のスピーチのやり方を説明され、中間試験、期末試験の代わりに対面でのスピーチが行われた。国際日本学部の英語の必修授業と似ている部分もあったため、比較的簡単だったと思う。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

私は学部2年で1学期間留学したため、就職活動と被ることはなかったです。しかし、ルームメイトの先輩2人は学部3年で1年間の留学をしていました。2人共、マレーシアからオンラインで就活しており、内定も決まっていました。正直、対面での説明会に参加できなかったり、対面必須のテストを受験できないなどのデメリットはあります。しかし、夏休みなどの長期休みを利用して日本に一時帰国したり、オンラインの説明会や面接を利用することは可能です。時差も1時間なので、比較的参加しやすいと思います。さらに、留学先からインターンや説明会、選考に参加するとインパクトも大きいので、有利に働く部分もあると思います。企業に相談して、Webテストの受験を遅らせてもらっている先輩もいました。

私自身、2人に影響を受けて、マレーシアから就活を始めました。オンラインでの説明会やインターンシップは多く開催されているので、留学先からも問題なく参加することができました。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	
留学開始年	1月～3月	留学先決定
	4月～7月	ビザ申請開始
	8月～9月	ビザ取得完了
	10月～12月	出国、新学期
留学/帰国年	1月～3月	期末試験、学期終了、帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

複数の言語や文化をもつ国に留学したかったため、マレーシアを留学先を選びました。東南アジアの英語は発音の癖が強く、最初は言語に慣れるのが大変でしたが、段々とスムーズにコミュニケーションを取れるようになりました。正直、英語力を伸ばすことを目的としている人には向かないと思います。しかし、多文化に触れながら、日本にはない生活様式を体験する場所としては最適だと思います。マレー人、中国人、インド人だけでなく、留学生との交流も多くあるため、様々な国の文化に触れることが可能です。国の祝日も、色んな文化に基づいているため、非常に面白いと思います。良くも悪くもゆったりとした文化なので、対応力が鍛えられます。最初は戸惑うことや納得のいかないことも多かったです。段々と先回りして行動できるようになりました。

大学の授業の雰囲気は日本と似ていますが、期末試験に対する意識がかなり違いました。期末試験直前の1週間は完全に休みになり、勉強する期間が設けられます。当日は受験会場のような厳かな雰囲気で行われました。おっとりした人柄の人が多いイメージでしたが、マラヤ大学の学生は非常に優秀なので、みんなかなり勉強しています。私もかなり良い刺激を受けました。

留学生生活を振り返っても、正直一番大変だったのは学生ビザの取得です。送金がうまくいかず、出国を遅らせ、結果的に新学期授業開始日の前日に現地に到着しました。どれだけ書類を準備できていても、うまくいかないことはあります。ただ、少しでも不安に思ったら、ぜひ国際連携事務室の方や、現地の大学の担当者に素早く連絡することをおすすめします。私は、個人的に現地の大使館と連絡を取ろうとしたため、かなり時間がかかってしまい、最終的に双方の大学に迷惑をかけてしまいました。初めてのことで、全てうまくいかなかった。これから留学するみなさんが、色んな人に頼りながら、充実した留学生活を送れることを願っています。